

The Magic of ROTARY ロータリーのマジック

2024～25 年度年度
国際ローター会長 Steohanie Urchick



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 29 回例会 2025.5.12 (#2444) 舞の間
例会ホスト・紹介係 山内会員
受付係 末竹会員 乳井会員
司会者 山田会員 ソングリーダー 高瀬 YE

卓話 「漆～伝統継承の取り組み～」

目白漆芸文化財研究所 代表取締役 室瀬 智弥氏
紹介者 若林会員

前回の報告

第 27 回例会 2025.4.14 (#2442) 舞の間
例会ホスト・紹介係 浅野会員
受付係 保科会員 杉山会員
司会者 山内会員 ソングリーダー 木寅会員

卓話 「ゲーム開発について～
経営者兼ゲームデザイナーの 20 年を振り返って～」

(株)ドラガミゲームス代表取締役社長 安田 善巳氏
紹介者 須藤会員

第 28 回例会 2025.4.24 (#2443)
地 区 大 会 @立川ステージガーデン

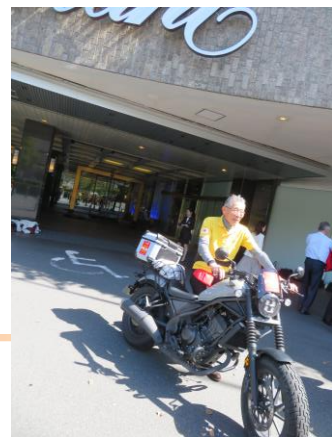
今期のモットー：「親睦を通じて奉仕を実践する」

会長報告

- 1) 本日はゲーム業界の経営者にお話をうかがいます。よろしくお願い致します。
- 2) 岐阜中RCの故金(かるがねまさし)様が、ポリオ根絶キャンペーンをバイクで日本一周をなさるため、出発地点をここ東京麹町RCにしたいということでお越しです。岐阜中RCのお仲間の方や第2590地区の方々の亀ヶ谷様も応援に駆けつけて下さっています。
- 3) 今月から新米山奨学生をサポートします(中国の陳 ユさん)カウンセラーは吉沢会員にお願い致します。
- 4) 24 日は地区大会に御参集下さい。26 日には府中競馬場での観戦親睦会です。それぞれよろしく御願いたします。

幹事報告

- 1) 24 日の地区大会は立川ステージガーデンにて開催です。クラブ紹介は4時半くらいです。そのお頃には御着席下さい。登録なさっていないかたも当日登録も可能です。その場合は事務局にお知らせ下さい。
- 2) 地区大会、GW がありますので、次回通常例会は 5 月 12 日です。



例会記録

会員総数 60名 出席会員数 25名
ゲスト 4名 ビジター 10名
その他 0名 海外ビジター 0名
事務局 2 名

ニコニコボックス

濱田会員：故金様これから全国一周、
お氣をつけて
荒川会員：故金様ようこそお出で下さいました。
安田様卓話を宜しくお願いします。
齊藤会員：ポリオ T シャツ忘れました
乳井会員：故金様ようこそ
山田会員：パートナー誕生日

次回予告

第30回例会 2025. 5. 19 (#2445)
会場：舞の間
例会ホスト・紹介係 吉田会員
受付係 藤田会員 莊村会員
司会者 山田会員
ソングリーダー 杉山会員

卓話「ROTEX とは？」
地区ROTEX委員長 寺嶋 ちはるさん

英国におけるネイチャー・ポジティブな取組みの動向 ～自然に基づく解決法を活用するには？～

ロータリー＆ローターアクトの繋がり、帰って来たくなるクラブの秘訣

ロンドン・ローターアクトクラブ 野村 奈也乃氏(3/10 卓話)

【1部】演題: Nature-based Solutions をビジネスに取り入れるには？

自己紹介

岐阜県生まれ、幼少期をニューヨークで過ごす。同志社女子大学と UC Irvine にて国際教養を学び、日本は東京と関西、英国はロンドンにて、フィンテック、IT、インバウンド、不動産などで営業、パートナーシップ、マーケティング、コンプライアンスの経験を積む。

ローターアクト・ロンドンクラブ 2023-2024 期会長。WASH (Water Sanitation and Hygiene) Rotary Action Group の英国アンバサダー。Panicle Office のコーファウンダーとして、自然を事業に活用するプロジェクトの調査・開発・資金提供に携わる。

背景: 世界の環境問題における動向

#ShowYourStripes という言葉を聞いたことがあるだろうか。世界気象機関(WMO)は、6つの国際的なデータに基づき、昨年2024年が記録史上最も暖かい年であったことを発表した。過去10年間はすべてトップ10入りしており、記録的な高温が続いている。

次に、気候変動の転換点と言われるティッピング・ポイントについて考えてみたい。日本では、「茹でガエルの理論」というのがある。誰もが知っていると思うが「カエルは、いきなり熱湯に入れると驚いて逃げ出すが、常温の水に入れて徐々に水温を上げていくと逃げ出すタイミングを失い、最後には死んでしまう」。ゆっくりと、でも確実に進んでいる環境の変化が蓄積し、やがて限界値に達する時、もう後戻りのできない窮地に陥ると言われている。今、私たちの住む地球が直面している課題に直結していると警鐘を鳴らしているのである。

気候変動により起きた変異的な降雨や気温上昇などにより、グリーンランドの氷床融解、東西南極の氷床の融解、低緯度サンゴ礁の白化、アマゾンなどの森林伐採など、異常なスピードで生態系の変化が起こっている。こういった状況を回避すべく、主に温室効果ガス排出を削減する政治・経済的なアクションが勧められていることは耳に新しくないだろう。

世界自然保護基金(WWF)の Living Planet Report 2024 によると、過去50年(1970-2020)で世界の野生動物の73%が減少したことを明らかにした。また、世界のGDPの50%以上は自然とそのサービスに中程度～高度に依存しており、その影響は年間125兆ドル以上と推定されている。

農業の課題

自然の恩恵を受けている産業といえば農業だが、今世界的にクリティカルな課題に直面している。

①**土壌の健康状態** — 毎秒、サッカー場4面分の健全な土壌が劣化しており、その総面積は毎年1億ヘクタールにのぼる。劣化していない健全な土壌は、80億人を越える人々の食糧生産の95%に直接必要なものである。

②**水不足** — 世界資源研究所(WRI)の新たな分析によると、世界の作物の4分の1は、水供給が非常にストレスのかかる地域、非常に不安定な地域、あるいはその両方の地域で栽培されている。

③**汚染** — 2020年のアンモニアとメタンの主な排出源は農業であり、それぞれ総排出量の94%と56%を占める。アンモニアの排出量は、2005年から2020年にかけてわずか8%しか減少しておらず、これは全汚染物質の中で最も低い削減率であったと欧州環境機関(EEA)は報告している。使用された農薬が川に流れ込み、周辺にある植物が育ち過ぎてしまうことで、川の中に生息する生物が酸素を吸収できなくなり死んでしまう。このような現象を富栄養化というが、生態系の崩れに直結する問題である。

解決策は？

これらに対応する解決策として、ネイチャー・ベースド・ソリューション(NbS)がある。この言葉は、ICUN(国際自然保護連合)が提唱するもので、自然の力を利用して、生態系と人間に利益をもたらす、社会的課題を解決する方法です。日本語では、自然に基づく解決策と訳されている。

具体的には、環境再生型農業(リジェネラティブ農業)や持続可能な排水システム(SuDS)、そして処理湿地などが代表的な例であるが、ここでは、それぞれがどのような役割を持つか説明したい。

①**環境再生型農業(リジェネラティブ農業)** 土壌の健康を回復させ、生物多様性を高め、気候変動への適応力を強化する様々な手法がありその一つに不耕起栽培という土を耕さずに農作物を栽培する方法がある。土を掘り起こさないことで、土壌に固定された炭素は大気中に放出されない。また、土壌侵食が軽減され、有機物を多く含む健康な土壌になる。

例: 愛知県福津農園を営む松澤さん。1.4ヘクタールの広大な農園で野菜や果物など、200品種以上の作物を育てている。

大根の種まきをするのとこのことについて行くと、なんと松澤さん、ボーボーの草むらに種を直接まき始めた！

そこは… まさに草だらけ。土が見えない草むらに種をまいている。

スタッフ「畑には見えないけど… ココは畑ですか？」

松澤さん「畑です。いきついたのは、耕さない農業。」

松澤さんは収穫までの間、肥料や農薬はもちろん、水さえも、一切与えないと言う。

生態系が整っているから、時間が経てば、自然と美味しい野菜ができるのだ。

YouTube は、「【大注目】水も肥料やらない!? 甘くて美味しい野菜ができる”耕さない農業とは”」で検索！

②持続可能な排水システム (Sustainable Drainage System, SuDS)

自然の排水プロセスを模倣し、雨水を可能な限り発生源に近い場所で管理することで、浸透、減衰、受動的処理を促すように設計された排水システム。つまり、雨水を下水溝に流すのではなく、再利用や、自然に浸透させたりすることを目的とする。

例：チェコ共和国のブリディ保護地域では、政府による湿地帯の修復プロジェクトが長年に渡り停滞していたが、ビーバーが自分たちの食糧確保や捕食動物から守るために率先してダムを建設し、環境を再生させた結果、希少なカエルや魚が戻り、生態系全体が繁栄した。専門家は「自然が生んだ最高のインフラ」と称し、環境科学者トーマス・ミュラー氏は「人間の建設物では到底及ばないほど優れた水管理能力」を称賛している。また、政府はこの結果、約 200 万円の費用削減が実現したと報告しており、**環境保護と経済効果を両立させた成功事例として注目を集めている。**

③処理湿地 — 人工湿地とも言われ、湿地生態系の水質浄化機能を人工的に利用して排水処理を行う手法である。自然の湿地を模倣し、植物や微生物の働きで汚水を浄化する。

例：北海道にホワイトデータセンター(WDC)という、雪の冷熱と再生可能エネルギー(再エネ)を利用することでCO2 排出量ゼロを実現したデータセンターのケースと、アメリカで、湿地をエネルギーパークの冷却に活用されたケース、そして湿地が持つ浄水の力を活用し、1MW の年間取水量の 90%を賄ったケースを併せて、**湿地をデータセンターの冷却に使用し、浄化された水の活用により循環型エコノミーを作るといことも可能だと考えている。**

英国、日本での活動

上記のような自然が経済的に利益をもたらすことをより多くの事業が取り入れ、私たち Panicle Office が Hopefully Tomorrow というインフラストラクチャーファンドを使って出資できるプロジェクトを多くより多くの場所で生み出すべく、各利害関係者を囲んだイベントを開催している。

事例として、東京銀座では第 1 回ネイチャーエコノミクス国際フォーラムを開催。英国ロンドンでは、前シティオブロンドン市長とロータリーロンドンクラブとともにテムズ川の海藻と牡蠣の復興活動と呼びかけ、「Who pays for nature?」という題目でパネルディスカッションを開催した。

なぜ今なのか？

Panicle Office として大切にしている価値観に、Family First(家族第一)がある。

“Family First とは、かけがえのない繋がりを重んじ、心から感謝すること。

これは、私たちの家族、そして皆様の家族にとっても同じ想い。私たちは、この想いを軸に、言動や行いを選択、家族を尊重することで、私たちは一つとなり、大きく進歩できます。

家族の存在は、私たちの人生に彩りを添え、価値観を共鳴する人々との和を広げます。

寛容さを受け入れることで、気高く花開き、共に歩むことで、人生は少しだけ明るくなると信じています。”

私たちと今日のためではなく、私たちの子供や次世代のために。変化を起こす時、Later is too late 後からでは、手遅れになってしまう。

私たちが老後を迎えた時、「できる限りのことはやったよね」と胸をはって子供や孫に伝えられる選択をしていきたい。

【2 部】演題：ロータリー & ロータアクトの繋がり～帰ってきたくなるクラブとは？～

2023-2024 年ローターアクトロンドンクラブ会長を務めた際のテーマ：**繋がり**

背景には、親クラブとの連携に透明性が欠けていたこと、ローターアクトクラブへの信頼が築けていなかったことを鑑み、メンバー定着の底上げと関係構築の徹底に時間をかけたいと考えたことが挙げられる。

ローターアクトロンドンクラブの基本情報：

- ロンドンにローターアクトクラブは 4 つ
- ロンドンローターアクトは 2021 年に設立
- 親クラブはロンドンロータリークラブ
- メンバーは、昨年 40 名、現時点で 57 名
- 国際色にあふれ、メンバーは世界 20 カ国以上から集まる
- 今年は Co-President 制を導入
- Westminster International ローターアクトクラブが創立 40 年で一番老舗

ローターアクトロンドンクラブの取り組み状況：

- ボランティア活動例：ビーチ・河川クリーニング、ファームのお手伝い、ホームレスの方への食事提供、スーパークITCHン、子どもたちへの玩具ドネーション、など。
- ファンドレイジング活動例：Children of Rwanda、フィリピンのクラブへ災害援助、UK 拠点のメンタルヘルスチャリティ、ガーナ RAC との連携にて布ナプキン工場の設立支援。
- 定期的なメンバーの満足度アンケートとブレインストーミング：年度初め(7 月)と中間(1 月)に小さなグループに分かれたテーマ別意見交換のセッションを開催。

大切にしていたこと：

- **報・連・相**
どんなに小さなことでもクラブに関わる活動はメンバーに共有する。クラブがどれだけ貢献しているのか、どれ

だけの人に支えられ、そして影響を与えているのか、何よりも、メンバーの存在があってそ成り立っているのだということに感謝で伝える意味も込めている。「どんなことでもまずは相談してみる」文化づくりに努める。そうするために、会長自身がみんなに相談を持ちかける。私たちは完璧ではないのを自覚し、正直であること。

- 一人ひとりを知ること

一人一人文化背景や立場も違うことを理解した上で、みんな人間であるという平等の認識を持つ。一人一人の思いや、ローターアクトとの関わりのきっかけや目的、今後の目標を理解することに努める。メンバーの興味のある内容に応じて積極的な活動案の提案も求める。よってメンバーが主体的で、自分がパッションのあることに時間をかけられ、心から楽しんでもらえるようにする。(例: サステナブルな料理教室への参加や、ウォーキングメディテーション、サルサの講師を呼んで踊る、ハロウィンのクイズ大会などはメンバーからの意見で行った。)

- 愛情

私自身が楽しむ、参加する、顔を出すこと。いつでも暖かく、メンバーやビジターの方を快く迎え入れる準備を心身ともにをすること。例えば、遅れてでも参加したメンバーには、それがいかに意味をなすかを伝え、ハグで迎え入れる。帰ってくる場所にしてほしい、と言葉で伝える。

現在、親クラブのロータリーロンドンクラブとは、ローターアクトとの関わりを推進する上で、イベントの割引や積極的な参加の呼びかけ、奉仕活動のコラボレーション(Tech For Good というプロジェクトでは、NPO に出向き、IT やデジタル関係のコンサルを行うもの)などが活発に行われている。当初目標としていた関係構築の徹底の手応えは非常に強く感じている。

以上、最後までお付き合いくださり誠に感謝申し上げます。ロータリーという一つの世界共通の繋がりを軸に、皆様とより安全で、心穏やかに暮らせる地球を持続すべくともに手を取り合って精進していきますと幸いです。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



資料は以下の QR コードからご覧いただけます。

